

## 良い手本

今週は体カテストを行っています。校庭でソフトボール投げ、体育館で立ち幅跳びと長座体前屈（座った姿勢で上体を前に倒してどこまで届くか、柔軟性を測ります）の各種目を行いました。感染予防のため、激しい動きの種目、人同士が密接になる種目の実施は今年度も見送りました。

今週は雨模様でソフトボール投げが思うように進みませんでした。18日は久しぶりの陽が差し、校庭の活動もスムーズでした。

スムーズなのは天気のためだけでなく、この体カテストをペア学年で行っているためということもあります。1・6年、2・4年、3・5年のペア学年でグループを組み、上の学年が下の学年をリードしながら各種目を行っています。各種目の場所の回り方、運動のやり方などを、慣れている上の学年の人と一緒に行うことで、下の学年の人はサポートを受けたり、わからないことを教わったりしながら取り組むことができました。他学年との活動はコロナ禍で制限されていましたが、少しずつ再開することができてうれしい限りです。

ペア学年での活動に向け、今までリードされる側だった学年の人が、「下の学年の手本になってがんばるぞ。」と意欲と責任感にあふれる姿を見せていた、と聞きました。本校ではこのように「ペア学年」の活動、さらに全学年の児童がグループづくりをして交流する「たてわり活動」を行っています。上の学年の児童が頼もしい姿を見せて下の学年をリードし、「自分もいつかあんな風になりたい。」という気持ちをもつことで、良い活動の流れが引き継がれ続けていきます。

「背中で語る」などと言いますが、子どもたちと身近に接する大人である私たち教職員も、手本となる姿を見せられるように努めていきたいと思えます



学校の周りの山から、ウグイスの声が聞こえてきます。なんという名前の鳥か、長く美しい響きで鳴く声も、まるで競っているように聞こえてきます。

職員室前の花壇に咲いているのは、ホタルブクロという花でしょうか。